



 シラバス参照

タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習Ⅱ		
担当教員	<a href="#">荒 知宏</a>		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:A
講義室			
開講学期	後期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	各自が興味のあるトピックに関する英文記事を読む。授業ではグループに分かれて英文記事を議論してまとめ、それをグループごとにパワーポイントなどを使って発表するという形式で行う(各グループは5 - 6人程度)。教養演習Ⅱでは、興味のあるトピックに関する英文記事を読むことで、英語に対する抵抗感をなくし、記事の要約とそれに対する考えを自分の言葉で表現できるようになることを目的とする。		
望ましい水準	(1)各自が興味のある記事を探し、内容を十分に理解できること。 (2)英文記事にある内容を要約し、自分の意見を表現できること。		
授業計画	(スケジュール)第1回目の授業では、この授業で行うことを簡単に説明して、受講者のグループ分けを決める。第2 - 15回目の授業では、グループごとに分かれての議論してまとめる授業と、それをグループごとにパワーポイントなどを使って発表する授業に分けて行う。  (授業内容)教養演習Ⅱでは各自が興味のあるトピックに関する英文記事を主に読む。グループごとに興味があるトピックを決めて、各グループで関連する英文記事をインターネットなどを通じて探し、記事の要約とそれに対する自分の意見をまとめる作業を行う。この教養演習では、英語に興味がある学生を特に歓迎する。  (芋煮会)前期の学外研修の代わりに、後期には芋煮会を行う予定である。		
教材・教科書	特定の教科書は指定せずに、プリントを主に使用する。		
参考図書	随時、必要に応じて紹介する。		
参考URL	特になし。授業で使う教材の配布や授業に関する連絡事項はLiveCampusを通じて行うので、受講者は定期的に確認すること。		
授業以外の学習	グループで時間を作って会って、文献を読んだり、発表の準備をしたりすること。		
成績評価の方法	授業への参加(30点)、グループ発表での内容(40点)、期末試験(30点)を配分して、合計100点で評価する。60点以上の場合に望ましい水準に達していると判断し、80点以上の場合には高い水準に達していると評価する。また最終成績では出席も重視する。		
成績評価の基準	A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 50-59 F: 0-49		
オフィスアワー	基本的には授業終了後で、必要とあればメールで対応する。		
留意点・注意事項	授業では英文記事を読むので、英語に興味があることが望ましい。		
その他	特になし。		
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養／多角的・総合的思考(幅広い教養1)		
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5			

カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	



-----  
Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.